

<p>第30号 (10月号) 2015年 10月1日</p>	<p>七里ヶ丘子ども若者支援研究所 それが社会参加だ！</p>	<p>住所:鎌倉市七里ヶ浜2-31-12 携帯:090-7212-4055 Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp 編集長:新舛秀浩 発行責任者:滝田衛</p>
--	--	---

「不登校の解決へ第1章！」安川有里さん(司会 会員)

シルバーウィークの最終日、9/23に「第一章子どもが主役～子ども若者課題解決～子ども若者の課題解決に向けたインタビュー&討論会」が開催されました。『第一章』とあるように、来年の春まで5回の講演会でこれまでの「子ども若者応援団」と「七里ヶ丘子ども若者支援研究所」の活動を具体化し、多くの市民の皆さんに問題提起をしていこうというもの、今回はその一回目。「子どもが主役～学校・先生そして大人が変わるために～」がテーマの2部構成の講演会でした。



(川辺悟史さん撮影)

第一部では不登校経験者の話を伺いました。ひょんなきっかけから不登校になった新舛くん。対人関係への不安やトラウマは今も持ち続けている、そして中学時代の先生との距離感等を話してくれました。同級生の言葉の暴力から不登校になったOさん。悩んだ時代を振り返る辛いインタビュー、彼女の言葉からこれからのOさんの人生への力強い思いが伝わってきました。

第二部は、長谷川昇さん・小幡沙央里さん、2人の市議会議員をお迎えして「教育行政を子どもの思いで変える」をテーマに教育への熱い思いを語って頂きました。長谷川市議は元教員。教師の教育環境が充分でない、ひとり一人の子どもの思いを受け止めてどのように対処していくべきかなど、教員の目線から不登校問題に言及。小幡市議は子どもたちと接する様々な活動を通じて感じる子ども達の思いを、自己の経験に重ねて話して下さいました。後半は会場の参加者のみなさんの活発な、そして貴重なお話を伺う事が出来ました。次回は、11月8日(日)14時～講演会「第2章子どもが生きやすい社会へ」でお会いしましょう。ご参加ください。 ※別紙参照



滝田さん小幡&長谷川市議
(川辺さん撮影)

コラム風 9月はテレビ出演、入院そして講演会にコンサート、忙しかったです。テレビは既に8月に収録、放映前当日は番宣で露出、皆さんからメール・facebookや携帯に連絡が入り、その反響に驚きました。バラエティは凄い！ 改めて頭の良さは瞬時の判断力とコミュニケーション。芸人さんやテレビマンは気遣い心遣いに優れています、もちろんホリケンさんも。僕等教員と田中アナは取り直しを幾つかされました。来年ホリケンに、横須賀に来てもらおうと夢想しています。

入院は有明癌研、4泊5日のしばしの都会体験でした(笑)。講演会是不登校経験者と市議の発言から、参加者34人が学校を変える地域力の確認をしました、「学校が抱えない」と。

何と言っても圧巻はピアノコンサート、SHUICHI 1st LIVEでした。5月のピアノ発表会で秀一さんの演奏を聴き、「コンサートを！」と、お母様と北澤(友人)さんと意気投合。4か月で実現しました。

主治医、職場社長、高校の校長や友人や知人・応援団仲間が40人集まった。素朴な詩とスイングで秀一ワールドを堪能。



それぞれの風

9月23日講演会ご参加の皆様のご感想を紹介させていただきます

- 武藤 武 経験者2人とも輝いてパワーを頂きました。ありがとうございました。
- 松本光世 不登校の人たちが生きやすい社会になるように皆さんの声を(新舛さん)自分を大切に、好きなことをもっとやって(大石さん)子どもたちの選択肢を増やすし制度を変えること(小幡さん)それぞれ素敵な言葉が印象的、滝田さんの名ファシリテーターもありがとうございました。
- 柿澤英子 貴重な生の声を聞かせていただき、いろいろ考えさせられました。それぞれの立場でのご意見、取っても勉強になりました。
- 中西由美子 今の中学ってホントに息がつまりそう…来年中学に入学する女の子、連休明けは必ず休む。遅刻して行けばいい方。そんな子が息がつまりそうな中学へ通えるのか心配。「学校も家もつまらない。学童が一番楽しい!」と言ってくれましたが…。学校へ行って欲しくてガンガン言っちゃってとっても後悔してます。安心できる居場所=学童の人として頑張ります。
- 匿名 学校の質を、教員の質を、一市民として、そのレベルを上げられるのに、何かできますか?どこかそれが見えず悲しくなったりしますが…。子どもたちを大切に思う大人たちがますます増えていくことを祈りつつ。
- 高島智子 地域の方が学校にはいるということがとても大切だということ…改めて感じました。
- 椎名純子 3歳の息子がいて母親歴も3年です。子どもが大きくなり問題に直面したときに私もいろいろな事を知っておくことで対応が少しでもスムーズに出来ればと思い参加させていただきました。ありがとうございました。
- 大石美優 本日はありがとうございました。こんなんで大丈夫でしたか?参加して良かったと思いました。
- 川辺哲史 不登校だった方のお話しに、自分が不登校だった時の思いが重なりました。市議のお二人の話も、成る程と思うことが多かったです。



会場の様子 川辺さん撮影

- 河野真一 不登校の体験者や、元教員の方がたの実際の話聞くことができ、貴重な体験となりました。
- 蕨武春男 もっと子どもも自信を待つための教育を
- 山本陽子 若者2人のおかげで、「不登校」の周知が出来たのではないかと思います。また、学校現場の様々な支援の部分の予算化を市議のお二人は頑張っていて欲しいです。
- 飯田高廣 学校のいじめ問題等の話し、つらかったこと等を語ってくれたこと感動しました。
- 匿名 やはり diversity(多様性)を社会のどの場所にも行き渡らせることが大切。そのための制度設計だったり、意識改革が起きてほしい。学びは社会に出ると、ずっとやらなければならないので、どっちにしても、いろいろな学びの場として設定する必要があると思う。
- 新舛秀浩 小幡さんのSNSの便利な一方、学校を出ても関係がつながる苦しい社会が印象的でした。長谷川さんの教育予算をつけ、教員の増加へ共感です。地域と学校の連携強化を。 ※その他にも頂きましたが掲載不可の方が

編集後記 講演会での小幡市議「制度を変えれば社会は変わる」。確かに江戸時代は家に居て親の手伝いをするのが今では学校へ行くことが当然。非常に共感致しました。(新舛秀浩)
 【会費納入しボランティア活動に支えられる研究所・応援団活動を実感です。ポスター作製の永野亜由美さん、コンサート会場提供の鈴木孝博さんに熱く感謝です(滝田衛)】

【ご参加下さい】
 応援団会議は
 横須賀市市民
 サポートセンター
 午後2時～4時
 会員の自由な
 集まりです。

10月研究所開設日程(駐車場有)相談時間10時～16時土日訪問はご相談

1日(木)	他 事業	18日(日)	応援団会議
5日(月)	お 休 み	19日(月)	他 事業
8日(木)	相 談	22日(木)	相 談
12日(月)	お 休 み	26日(月)	相 談
15日(木)	相 談	29日(木)	相 談